

コピー・リソグラフ・OA用紙の使用量等について(2013年4月～6月期)

1. 用紙の使用量について

2013年4月～6月期のコピー・リソグラフ・OA用紙の使用量について、市ヶ谷キャンパスにおいては目標値に対して102.5%、多摩キャンパスにおいては目標値に対して104.1%と、両キャンパスとも目標値を若干超過した値となった。

超過率が高い部局においては、その要因として新規業務の開始、業務規模の拡大、案件の増加等に伴う紙媒体資料・配布物等の増加が挙げられた。

また、教学部局においては、カリキュラム変更等に伴う学生配布資料の増加、プロジェクトの発足等に伴う資料の増加が挙げられた。なお、学部によっては、従来は秋学期（後期）に配布していた資料等を春学期（前期）に配布することとなったため、用紙使用量のピークが前倒しになったケースもあり、秋学期の用紙使用量については前年度より削減が見込めるケースも含まれていた。

2. 用紙使用量削減に向けて

今回超過率が高かった部局に対しては、その要因を聴取するとともに、用紙の裏紙利用、両面印刷・集約印刷、電子媒体の活用等、用紙使用量削減のための取り組みをより推進していただくよう呼びかけを行った。

なお、本年5月、環境改善活動推進の一環として、資源・リサイクル小委員会では、両面コピー推進、ごみ分別推進ポスターを作成し、学内への掲示を依頼するとともに、環境センターホームページ上での公開を行った。

3. 添付資料

- | | |
|---|----|
| (1) 2013年度コピー・リソ・OA用紙使用量ランキング(市ヶ谷. 04～06) | 1部 |
| (2) 2013年度コピー・リソ・OA用紙使用量ランキング(多摩. 04～06) | 1部 |

以上